

事業番号	事業名	市民評価員					仕分け人					事業仕分けの際の指摘、意見等	部名	課名
		不要	民営化	国・県実施	市(要改善)実施	(現行通り)市実施	不要	民営化	国・県実施	市(要改善)実施	(現行通り)市実施			
11	ねたきり高齢者等紙おむつ支給事業	3		2	18	5				5		1 今後の財政負担の推移を把握し、早急に利用者に対する所得制限を設けるべき。 2 利用しやすい制度として高齢者サービス全体での検討も行っていくべき。	健康福祉部	長寿社会課
12	ねたきり高齢者出張整容等サービス事業	5	9		12	2		2		3		1 所得制限などの導入で、利用者間の負担調整を行うべきである。 2 回数制限も検討すべきである。 3 利用しやすい制度として高齢者サービス全体での検討も行っていくべき。 4 民間開放による、経済活動の促進につなげるべき。	健康福祉部	長寿社会課
13	ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム貸与事業	8	4	1	14	1	1	1		3		1 本当に必要な人にサービスが提供されているか、効果は得られているか、という視点から見直すべき。 2 昼間独居高齢者等にも提供し、応分の自己負担を徴収すべき。 3 安否確認を併せて行う必要があるため、制度の根本的な見直しを図るべき。	健康福祉部	長寿社会課
14	シニアリフレッシュ事業	21	1		6			5				1 事業目的が達成されていない。 2 対象者に対して利用者が少なすぎる。 3 リフレッシュの成果が確認できない。 4 事業目的は肯定するが、実現方法としてこの施策だけではないはず。 5 介護予防施策全体の中で、もっと工夫すべき。	健康福祉部	長寿社会課
15	福祉バス運行事業	16	1		3			5				1 目的外での使用者が無料で利用しているのはよくない。 2 ひきこもり防止施策は否定しないが、無料でなくてよい。 3 路線バスと平行して運行しているならば「はつらつシニアバス」へ移行したほうがよい。 4 別に利用券を配布した方がよい。	健康福祉部	保健所健康づくり課
16	老人福祉センター等運営管理業務委託(老人福祉センター等運営管理指定管理業務)	1	9		17	1		1		4		1 年齢制限の見直し、利用時間の延長、有料化など施設を有効活用すべき。 2 さまざまな施設を市民全体に開放するよう検討すべき。	健康福祉部	保健所健康づくり課
17	精神保健対策事業(横須賀こころの電話事業)	5	6	2	15		1	2		3		1 団体ボランティア活動への補助制度に切り替えた方がよい。 2 相談ボランティアの質の確保について十分なチェック体制が必要。	健康福祉部	保健所健康づくり課
18	福祉手当等給付事業(重度障害者等福祉手当)			6	15	7	1			4		1 金銭給付は国の制度で対応すべきである。 2 重度障害者の人所得機を減らすための取り組みなど、切実な問題に重点を移すべきである。 3 本市の手当は他の市の平均より手厚くなっており、なぜ、そこまでする必要があるので議論すべきである。	健康福祉部	障害福祉課
19	社会福祉施設 水道料金等繰出金	13			11	3	3			1	1	(繰出金の手法について) 1 水道施設老朽化に伴う今後の受益者負担や、上下水道企業会計への繰出金が、市民に見えない形で住民負担率を上昇させていることなどを全体で捉え、一般会計からの繰出金全体のあり方を整理すべき。 2 事業担当課予算から繰出を行うことで、人件費等の余計な事務経費が発生しているので、主たる担当課等が一括して事務を行うべき。(受給者への減免について) 3 この費用が不要ということではないが、重要度・優先度を考え資源を集中すべき。 4 子ども手当の支給を契機に、減免は廃止し、他の自立支援策へ向けるべき。 5 他の中核市で、実施は旭川市のみなので、必然性等を再考すべき。	こども育成部	こども青少年支援課(こども給付担当)